

山本 太郎 先生

著作物使用許諾のお願い

拝啓 時下、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

さて、弊社は高校生を対象に、教科書、参考書、問題集を発行している学習図書の出版社でございます。

現在、下記の高等学校用 国語問題集の編集を進めております。こちらに、ぜひ御作を掲載させていただきたく、お願いの手紙を出させていただきました。

お手数ではございますがご確認いただき、ご承諾の可否につきまして同封の「著作物使用に関する回答書」にご記入の上、6月14日（木）までに返送していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、「著作物使用に関する回答書（著作権者様控）」の方はお手元にてお控えください。

ご多忙の折、ご迷惑をおかけして誠に恐縮でございます。

お力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成30年5月15日

数研出版（株）関西本社 編集部

記

1) 採録作品名：「医師の山歩き 5 雪の上高地」（月刊「みすず no.616」みすず書房 所収）

* 同封別紙が掲載案の原稿でございます。誠に恐縮ではございますが、教材としての必要上、文意を損なわない程度に文章の一部を省略・改変させていただくこともございます。

* 本問題集は、学習の手助けとして解答編にも本文を縮小して再録いたします。また付属物としてCD-ROM（教師用非売品）を発行する予定でおります。こちらには問題集掲載本文と、その前後の一部分を収録させていただきたいと考えております。

これにつきましても、あわせてご承諾いただければ幸いに存じます。

2) 弊社発行予定問題集

* 書名：『力をつける現代文 ステップ2.5』

（B5判・本冊72p／B5変判・別冊解答104p＜予定＞）

* 編者：数研出版編集部

飼っていたカメを不注意で死なせた日「いつそぼくが死んだ方がましだ」と父の胸で泣いた息子だった。それが随分と大きくなった。

二年近く前のことだった。家の近くの小さな店でカメに魅せられた息子は、家に帰ってから「カメ、飼っちゃダメなんだよね」と、自分を納得させるように、それでも諦められない気持ちを伝えるために、何度も「ダメなんだよね」と母に訊いた。父の許可を得ることを条件に、カメを飼ってもいいと言ったのは、そんな息子がかわいそうになった母だった。そのとき父は「ちゃんと世話はしろよな」とだけ言った。その日から、息子はカメに夢中になった。食べるものは雑食だが、好みがあるので、いろいろと試してみなくてはならないこと。水も必要だが、息をするために、鼻を空気に出すことのできる置石をしなくてはならないこと。皮膚病になりやすいので、三日に一度水を変え、日光浴をさせなくてはならないことなど、まだ、ひらがなもうまく読めないのに、近くの図書館で借りてきた本の絵や写真をじっと眺め、それでもわからないところは母の助けを借りて一つひとつを調べていった。

生まれて二カ月ばかりの小さなカメが家に来た日「まず、名前を付けなくちゃね」と言う母に「ぼく、もう決めてた。カメ吉だよ。カメだから、カメ吉。わかってないね、母さんは」と息子は得意そうに鼻を鳴らした。それからの彼は、晴れている限り、カメの水槽を戸外へ出し、日光浴をさせ、餌を与えた。そして夏休みの自由研究にすると言って、毎日の体重を計った。

よく晴れた夏の一日だった。息子は、友達との遊びに夢中になって、日光浴のために日向に出したカメの水槽を取り込むことを忘れた。息子は「父さん、カメを殺したのは、ぼくだ。死なすくらいだったら飼うんじゃなかった」と、声を上げて泣いた。そんな彼にどんな言葉をかけてやることもできなかった。ただ抱きしめてやることしかできなかった。以降、あんなに毎日していたカメの話を息子がしたことはない。

しばらくすると、トイレの中から歌声らしきものが聴こえてきた。音程もリズムもめっちゃよかった。トイレから出てきた息子が言った。「おれ、春樹と同じ中学へ行って野球やるからいいや。いいでしょう、父さん」と。

時代は違うが、四〇年も昔に「少年」として彼と同じ道を歩いてきた者として、わたしは、今の息子のその思いが叶う可能性が限りなく低いことを知っている。春樹が引越しの挨拶を兼ねて我家へ来た日、「一人で電車に乗れるようになったら、泊まりに来いよな」と言うわたしに、息子は「よっしゃ」と叫び声を上げ、「春樹はすぐ来るよ。だって、あいつ、頭がいいから」と言った。春樹はうれしそうに肯いた。それでもやがて、二人には新しい友達ができ、新しい友達と新しい環境の中で、少年は夢中で生きていくことになる。そのことを、わたしは知っている。だからこそ、わたしは、今の息子たちのその思いを大切に抱きしめて欲しいと思った。息子が、そして春樹が大人になったとき、きっと、そうしたことを思い出す日が来るに違いなしと思うから。